



2022年10月28日

各位

会社名 小松マテレー株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木 久衛
(コード番号 3580 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長代理 中村 重之
(TEL 0761-55-8000)

2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月10日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に株式に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,000	700	1,000	750	17.18
実績値 (B)	17,397	956	1,352	940	23.35
増減額 (B-A)	1,397	256	352	190	—
増減率 (%)	8.7%	36.6%	35.2%	25.3%	—
(ご参考) 前期第2四半期 (2022年3月期第2四半期)	14,543	538	803	714	16.94

2. 差異の内容

第2四半期累計期間における当社グループは原燃料・資材価格の高騰による企業コスト上昇などにより厳しい事業環境下にあります。このような状況において北米向けカジュアルウェアが牽引したことに加え、中東向け民族衣装分野の市場回復及び機能商品の積極的な導入が業績に寄与いたしました。また欧州及び国内向け衣料ファブリックについても堅調に推移いたしました。利益面においては商品の高付加価値化を伴った価格転嫁、生産性の向上や加工ロス・エネルギーロス削減を含めたトータルコスト削減を実施いたしました。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前回予想を上回っております。

第3四半期累計期間以降における当社グループの事業環境は原燃料・資材価格の高騰による更なる企業コスト上昇が見込まれます。そのような状況の下で北米向けカジュアルウェアの更なる拡販および資材ファブリックにおける車輻分野の市場拡大を図り、省エネ投資を実施しエネルギーの省力化と当社が独自で開発した低温で速染性のあるWS糸®の適用を拡大しコストダウンを図る所存であります。

なお、通期連結業績につきましてはウクライナ情勢の影響や外国為替相場の円安進行による原材料価格の高騰をはじめとし、依然として先行きが不透明な状況を勘案し、2022年5月10日に公表しました業績予想から変更していません。

以上